



## オージー流ゴルフのすすめ



日本で8年以上ゴルフを教えた経験のあるクレイグ氏が、みなさんの質問や悩みにお答えします。

### 第24回 バンカーに入ったとき その②

先月号では、グリーンサイドバンカーに入ったときの打ち方について説明しました。今回はフェアウェイバンカーに入ったときの打ち方をお話しましょう。

フェアウェイバンカーはグリーンまでまだ距離があるので、ほかのショットとほぼ同じ打ち方をします。ですから、砂ごと打ち出すグリーンサイドバンカーとは打ち方が違い、フェアウェイと同じ打ち方で大丈夫です。

下の写真を見てください。①はグリーンサイドバンカーで膝を深く曲げていますが、②はフェアウェイバンカーで、通常のショットとほぼ同じスタンス。足元は砂に沈めて安定させ、その分少し短めにクラブを持ちます。

写真③のように、クラブが砂を打たないよ

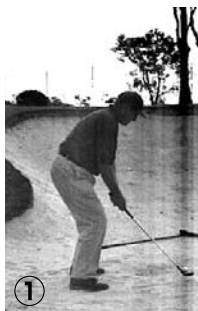


うに、ボールはセンターに置いて打ちます。ここでも基本の「逆Kの字」の構えは崩しません。

フェアウェイバンカーは、あごが低いことがほとんどなので、クラブは残りの距離で決めればよいでしょう。あごが高いときは、一つか二つロフト角の大きいクラブを選ぶといいでしょう。

なお、バンカーショットをする前に、バンカー内の砂にクラブで触れたり、砂を動かしたりすることは規則に反することなので気を付けましょう。

また、バンカーショット後のエチケットとして、自分の作った穴や足跡は、埋めて平らにならしておきましょう。



[www.ausasiagolf.com](http://www.ausasiagolf.com)